

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和5年度 第4回佐渡市デジタル化推進検討懇談会
開催日時	令和6年3月28日 (木) 10:00~12:00
場所	佐渡市役所2階 大会議室
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 座長あいさつ 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> 1) 前回の振り返り 2) デジタル活用計画 (案) について 3) 令和6年度事業について 4) 懇談会の在り方について 5) その他 4 副座長あいさつ 5 閉会
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	«デジタル化推進検討懇談委員» (7名) «市役所» (4名) 佐渡市総務部長 中川 宏 佐渡市総務部総務課デジタル政策主幹 中川 裕 総務課デジタル政策室長 椎 俊介 総務課デジタル政策室デジタル推進係調査員 桃原 里沙
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	なし

会議の概要（発言の要旨）

発言者	議題・発言・結果等
椎室長	<p>1 開会 2 座長あいさつ</p> <p>本日、座長が急な用務により欠席となった。 佐渡市デジタル化推進検討懇談会開催要綱第4条2の規定により、「座長に事故があるとき又は座長が欠けたときは、あらかじめ座長の指名する参加者が座長を務めるものとする。」こととしているが、今回は指名を行う余裕がなかったため、事務局において議事を進行することとしたいが、よいか。</p> <p>(一同の了承を得る)</p> <p>3 議事 1) 前回の振り返り (アジェンダP.4~5について説明)</p>
椎室長	<p>第3回の開催より時間が経過しているため、前回は振り返らせていただいた。ここまでの内容でご意見とうあるか。なければ、次の議事へ移る。</p> <p>2) デジタル活用計画（案）について (アジェンダP.6~9について説明)</p>
副座長	<p>PDCAの進め方について異議はないが、令和6年度の「Do」に対して懇談会がいかにして「Check」を担うのかが明確ではない。 所謂、専門家として「佐渡市アドバイザー」へ諮問するというお話もあったが、佐渡市のアドバイザーにはデジタルの分野のアドバイザーは不在であり、諮問機関は人に依存するため現実的ではないと考えている。 一方で当懇談会を諮問機関に格上げするののかという問題であるが、当懇談会のメンバーはバランスが取れていると感じているが、諮問機関になることで市役所側の負荷が増えすぎることは意に反する。 行政改革にも関わることなので、行政側の業務・負担を軽減しつつ意見を吸い上げる機関であるとよいと考える。</p>
A委員	<p>思惑を持っている人を入れすぎるとうまく進まないと思うので、人選は気を付けるべきと考える。</p>
B委員	<p>A委員に同意である。</p>
C委員	<p>資料を作るといことはなくなりますが、もう少し資料の質を少し下げてもよいのではないかと考えている。 当懇談会の資料についてもだが、こんなに綺麗な資料に整える必要があるのか。メモ入りの手書きのような資料でもよいと思う。 来年度の「Check」で必要なのは「伴走」である。 どのように一緒に改革・実行に伴走できるかが重要だと思う。</p>
D委員	<p>外部の目が入ることはよいことである。 資料の作成や委員とのやり取りが増加することで市役所側の負担が増すということであれば調整すればよいが、外部の目が入ることでピリッとするのは間違いないと思う。</p>

E委員	<p>デジタル化にあたって、「どうしてこんなことをしているのだろう」と思う部分があり、そのあたりを知りたいと思っている。</p> <p>どうして市役所がそんなに忙しいのかが分からないので、当懇談会を通じて見せてもらえるとよい。</p>
F委員 椎室長	<p>デジタル政策室については、新年度どのような推進体制か。</p> <p>デジタル政策室については、デジタル活用計画の進捗管理を担うとともに、計画の実行という点では主に「基本目標5」を担うこととなる。</p>
C委員 椎室長	<p>デジタル活用計画と総合計画との整合性についてはどう説明するのか？</p> <p>「基本目標5」の取組内容やロードマップの案を見ると、おっしゃるとおり総合計画より前に出ている部分が見受けられると思う。</p>
中川主幹	<p>こちらについては、総合計画の見直しのタイミングで揃えることとなる。</p> <p>先ほどE委員のご意見にもあったが、「何のためにデジタル化をするのか」については、データ活用の前にデータを集める必要があり、現在はその前段階である。</p> <p>どこにどのようなデータがあるのか分からない中で、まずはデータを集めながら整理したいと考えている。</p>
副座長	<p>ローコードの選定は進んでいるのか。</p> <p>「Kintone」「RPA」は、庁内の人が理解できないと進まないのでは、デジタルリーダーの研修などが必要と思う。</p>
椎室長	<p>計画（案）の内容に付随し、懇談会の在り方等について様々なご意見をいただいた。</p> <p>本日この場で結論が出るものではないと認識しており、この後、議事4）においても議論させていただきたいと思う。</p> <p>一旦、次の議事へ移る。</p>
椎室長	<p>3) 令和6年度事業について (アジェンダP.10～16について説明)</p> <p>1点、皆さまにお詫びしなければならないことがある。</p> <p>新年度事業において実施を考えていた「デジタル祭り」であるが、私の力不足によりゼロ査定となった。</p> <p>皆さま方には早い段階からご意見等いただいておりますが、このような結果となりたいへん申し訳ないと思っています。</p> <p>ただ、別のイベント等にデジタルのブースを出展するようなイメージで、予算をかけずに展開するような方法も考えていきたいと思っているので、引き続きその内容等についてはご相談させていただきながら進めていきたい。</p> <p>ご意見等あるか。</p> <p>なければ次の議事へ移る。</p>
中川主幹	<p>4) 懇談会の在り方について (アジェンダP.17～18について説明)</p> <p>デジタル活用計画の39の取組内容のいずれかに絞って、意見出しをしていくような形がよいのではないかと考えている。</p> <p>必ずしもデジタル政策室が所管している事業だけではないので、アジェンダP.18の6、7のような形で、懇談会を委員と担当部局とのディスカッションの場としてもよいのではないかと考えている。</p>
副座長	<p>アジェンダP.18の2、3のように、固定メンバー＋分野ごとに興味のある人に参加してもらおうような場合、言いたいだけの人が混ざってきて混乱するリスクもあるので気を付けなければならない。セミナーの聴講者として参加してもらおうことはよいと思う。</p>

A委員	<p>市民への周知のための仕掛けづくりを担う懇談会ができればよいが、出方は気を付けないと不利益が生じかねない。</p> <p>アジェンダP.18の3の自由に参加できるサロンに関して。 ノーコード／ローコードを分かっている人が自分で自分のものを作るのが一番よい。それを担う職員と懇談会の対話の場があるとよいと思う。吐き出せる場として職員が参加してもよいのではないか。</p> <p>アジェンダP.18の5の「ゆるつなCafe」とのコラボについて、介護福祉は大変な場なので、デジタルを考える必要はある。</p>
B委員	<p>高齢者が増加してもこぼれないようにしなければならない。</p> <p>アジェンダP.18のアイデアはすべてよいと思った。 正解は分からないので、できることからやってみればよいと思う。 分野ごとに専門的な意見が言える人がいないと、具体的なアイデアが出ないと思うので、分野ごとに専門的な意見を出せる体制があるとよい。</p>
C委員	<p>県内30市町村を回っているが、秋頃からは図書館を回っている。 財政力のある自治体は立派な図書館を持っているが、中のソフトは活用されていないので、そこを有効活用したい。 図書館であっても、コミュニティを作る場として一部はワイワイできるスペースがあってもよいと思っている。</p> <p>県で「新潟の未来図鑑withデジタル（新潟県内のデジタル化の取組を紹介するインタビュー）」を実施しており、新潟県内の民間・自治体のデジタルの取り組みを紹介している。長岡市の水道事例なども取り上げているが、佐渡市特集をしてもよいと思っている。</p>
D委員	<p>生成AIに今回の計画を覚えさせておくと活用できるかもしれない。 1つ1つの施策が単体ではなく、スピーディーに繋がるとよいと思う。 今年度は計画策定だが次年度は実装フェーズであり、現場に行けるとよいと思う。 よいもの作っても使われないと意味がないので、周知・プロモーションがどれだけできるのかが大事ではないか。 できるかは分からないが、懇談会も周知・プロモーションの役割を担えるか考えられたら良いと思う。</p>
E委員	<p>自動運転の実証実験は実施したと聞いたが、結局自動化されていない。何のための実証実験かという思いである。</p>
F委員	<p>デジタルリーダーも実証実験に加わってもらおうとよいのではないか。 デジタル上でつながっている懇談会という形はどうか。 メールでなく、ラフに繋がれるものがあるとよいと思う。 デジタルリーダーにとっても、外部の委員と会話することはきっとよいことと思う。 市民への周知は、市民よりも事業者にデジタルの関心を持ってもらえると、少なからず浸透しやすいのではないかなと思う。</p>
椎室長	<p>皆さまより様々なご意見をいただき感謝申し上げます。</p> <p>懇談会の在り方については、個人的にはアジェンダP.18の7にあるように、「計画のテーマのうちの漠然とした部分に対して意見交換しながら輪郭をはっきりとさせていく。」というようなことができると、市の職員にとっても懇談会にとってもお互いに有益なものになると感じている。</p> <p>引き続き、本日いただいたご意見を踏まえながら、この部分については室内でも議論し、令和6年度に新たな在り方として提示させていただきたいと思う。</p> <p>他にご意見等あるか。 なければ、次の議事へ移る。</p> <p>5) その他</p>

<p>椎室長</p>	<p>2点ほど。</p> <p>1点目は佐渡市公式LINEの受信設定の変更についてである。</p> <p>4月から、受信設定において「配信を希望する情報」にチェックが入っていない場合、佐渡市からのお知らせが配信されない仕様となる。</p> <p>これまでは、チェックが入っていない場合すべての情報が配信されていたが、1日に何度も情報配信されることを煩わしく思う方もおりブロックされてしまうケースが数多くあるため、このような仕様となる。</p> <p>2点目は令和6年度の懇談会の開催時期についてである。</p> <p>令和6年度については四半期ごとに計画の進捗管理を行う観点から4回の開催を予定している。</p> <p>第1回は7月頃を想定している。</p> <p>追って、委員の皆さまへは令和6年度の継続の意向確認も含めてご案内させていただく。</p> <p>以上である。</p> <p>ご意見等なければ、副座長より閉会のご挨拶をお願いします。</p>
<p>副座長</p>	<p>4 副座長あいさつ</p> <p>新年度事業より「デジタル祭り」がなくなったのは残念な思いであるが、いよいよ計画が実行フェーズを迎えることについては非常によかったと思っている。</p> <p>あわせて、庁内における「ノーコード/ローコードツール活用による市民サービス向上事業」について成果効果をぜひ知りたいので、共有をお願いしたい。</p> <p>当懇談会については、引き続き柔らかい対話の場として継続を模索していきたいと思っており、委員の皆さまにおかれましては新年度についても是非、継続のご意思をお示しいただくようお願いする。</p> <p>また来年度以降、よろしくお願ひしたいと思う。</p> <p>1年間、心より御礼申し上げます。</p> <p>5 閉会</p>